



HP「辻よし子と歩む会」で検索



「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1 佐橋方

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表 : 柏倉倫子・岩田純子

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず、コツコツと手作りの政治を！

## 疑問ばかり残る「不採択」

### 「日米地位協定」の改定を求める陳情について

私事で恐縮だが、昨年11月半ばの夜のこと。ちょうど我が家(草花)の真上をオスプレイが飛んだのだろう、バツバツという爆音が耳を揺さぶったかと思うと、家じゅうの窓ガラスが鳴り、屋根が巻き上げられるような感覚が来た。幸い、家は無傷だったが、「だめだ、屋根が飛ばされる」と思った数秒間の恐怖は忘れることができない。

横田基地の飛行訓練によって、こうした体験を持っている市民は多いと思う。とりわけ10月から配備されたオスプレイ CV-22 は、夜間の偵察や特殊任務用に装備された攻撃的な機種であり、夜間地形をなぞって低空飛行するなど危険な訓練を行う。当然事故も多い。

日ごろ、政府も自治体も「安全・安心」「国民の命と平和な暮らしを守る」と言いながら、あきる野市を含む横田基地周辺の住宅密集地の上空で、米軍機が飛行訓練を繰り返すのを許しており、学校や保育施設の上すら飛行規制をかけることができていない。しかも万が一事故が起きても、日本側には捜査権が全くなく、事故原因の特定は、米軍の発表に拠るしかないのが現状だ。

この状況を変えていくには、米軍が日本でどんな特権を持つかを定めた「日米地位協定」の中身を改定し、少しでも日本の法律に従ってもらうようにしていくほかない。昨年の7月には、全国知事会が日米地位協定の抜本の見直しを含む「米軍基地負担に関する提言」を全会一致で採択し、日米両政府に提出した。また大津などいくつかの自治体でも、国に対して「日米地位協定」の見直しを求める意見書を出す動きが出ている。

「くさしぎ」では、こうした流れを後押しし、横田基地の飛行訓練によって危険にさらされるあきる野市の現状にかんがみ、議会から国に対して日米地位協定の

改定に取り組むよう意見書を出してもらいたいと陳情書を提出した。

陳情は12月11日の総務委員会に諮られ、残念ながら不採択となった。委員の内訳は、明るい未来、共産党、公明党が1名ずつ、自民党志清会から3名(内1名は委員長)。明るい未来、共産党の両委員が採択、自民党志清会2名と公明党の委員が不採択で、不採択と決した。

不採択の理由として自民党の委員は、「現在、国も日米地位協定の運用の改善を求めて取り組んでいる。国の姿勢がすでに明らかにされており、意見書を出すことがプラスになるとは思われない」。

公明党の委員は「陳述書には沖縄の基地負担の軽減や危険性が入っていない。横田基地の騒音やオスプレイの危険性など、一自治体の不安だけを地位協定の見直しの理由にあげており、なんのために地位協定を改定するのかという本質的な部分から逸れている。公明党では検討チームを作って提言をまとめ政府に申し入れをした。国と国との交渉事の観点から見守っていきたい」と述べた。

近年、困難な地位協定の改定を成し遂げたイタリア、ドイツも、その成功の背景には国民の強力な後押しがあったことが指摘されている。自民党の委員の言うように国民が静観するだけでは、地位協定の改定はおぼつかない。

公明党の委員は市議会が市民目線で、市民の安全や安心を実現するために何をすべきかを検討する場であることを忘れていてはないか。沖縄のことを考えるのは当然であるが、あきる野市議会としては、市民の危険をいかにして低減するかが、より(裏へ)



喫緊の課題ではないのだろうか。

しかも自民党の委員は事前に会派で陳情への態度を決めてきたという。それでは、議事前に行う陳情者の陳述は何のためのものだったかが、再度問われなければならない。もうひとつ失望したのは、こうした政治課題を日夜考えているであろう委員諸氏の間で、賛否両論の討議が一切交わされなかったこと。議会は言論の府である。納得できる討議がなされる議会、委員会運営を切に望む。(H・K 草花在住)

議会 mini レポート  
by 辻よし子

## 生産緑地法に反して いませんか!?

### ～引田駅北口土地区画整理事業地内の指定を巡って～

12月議会の一般質問では、引田駅北口土地区画整理事業地内の生産緑地の指定について取り上げました。生産緑地は、継続して営農が可能な農地を指定するというのが大原則です。ところがなんと、今回指定する農地の半分近くは、わずか2～4年後には農地ではなくなる土地です。土地区画整理事業によって企業に売ったり貸したりすることが決まっているからです。どう考えても生産緑地法を逸脱した行為であり、公平公正でなければならない行政のあり方として見逃すことはできないとの思いから、多くの時間を割いて質問しました。しかし、市からは、何一つまともな答弁は返ってきませんでした。

議会が終わった翌日、あきる野市都市計画審議会が開かれ、この生産緑地の指定が市長の諮問案件として審議されました。私を含む3人の委員(いずれも議会選出の委員)が1時間以上に渡り、様々な角度から疑問を投げかけました。それに対する担当課長の説明は、正面から疑問に答えるものではなく、こじつけとも言える理屈で、到底納得できるものではありませんでした。賛成側の委員からはほとんど発言がないまま採決となり、諮問通りに可決されてしまいました。

意見の食い違いであれば歩み寄りもできますが、道理に反することを認めるわけにはいきません。市の法令順守(コンプライアンス)に係る重大な問題だと思います。

(辻よし子)



## 張君のこと、沖縄のこと

張雲峰君は、私のお店の近くの、小さな工業団地で働いていた。背筋の真っすぐな青年で、ひとなつっこい性格だったので、店の客ともすぐ親しくなった。

彼の日本語はとても美しかったので、私は感銘を受けたものだ。

彼を囲んで、グーグルマップで、彼の故郷を俯瞰したことがあった。

「この辺りで、父と母が暮らしています」

無錫郊外の、静かな田園地帯であった。数年前、彼は故国に帰って行った。

大戦末期、いざ本土決戦、と勇ましいことを言いながら、地上戦は沖縄でのみ行われた。県民の4人に1人、12万人が命を落とした。沖縄を捨石にするその遣り口は、70数年後の今も同じです。

日本の面積の0.6%の沖縄に、日本にある米軍基地の71%が集中します。過酷な歴史を背負い、困難な今を生きる、沖縄の人々の悲しみや苦しみは、遠い南の島の他人事なののでしょうか。「沖縄」と関わりなく私たちの日常が存在している訳ではありません。

琉球弧を西に、中国を意識した自衛隊施設の建設が進んでいます。

張君、俺は君と争う気はない。君もそうだろう。

僕が、魯迅の小説が好きだ、と言ったとき、君は嬉しそうに、魯迅の作品は中国では教科書によく使われていますよ、と教えてくれた。

「人が人を食う」(『狂人日記』)ことから、私たちは何時目を覚ますのだろうか。(K・Y 館谷在住)

無所属  
一人会派

辻よし子・プロフィール



1960年生まれ。小学校教員を経て、ボランティアとしてタイの農村教育に関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぶ会」を中心に、市内の環境保全活動に取り組む。3.11以後、新たに脱原発の市民活動を始める。2015年10月の補欠選挙で市議に当選。現在、2期目。草花で、夫と高2の次男、ネコ1匹と暮らす。

「辻よし子と歩む会」  
会員募集中!  
年会費:1,000円(カンパ歓迎!)  
郵便振替  
加入者名 辻よし子と歩む会  
口座番号 00140-9-430053  
ゆうちょ銀行(店番)〇一九(ゼロイチキュウ)店(019)  
当座 0430053

